

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5.1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性(※)や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。

また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。

【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標17の進捗状況

●茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)(※)の周知啓発

項目	実施時期	内容
C-EMSリーダー研修	4月	地球温暖化対策における自治体の役割、特に注意すべき環境法令
新採用職員研修	11月	茅ヶ崎市の環境、C-EMSの説明、ごみ処理の課題と解決に向けた取り組み
外部監査	11月中旬～ 12月下旬	文書監査・訪問監査及び前回外部監査結果への対応等に対する総合的な評価(報告書は市ホームページ、庁内イントラネット(※)で公表)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修・新任異動者レク(適宜)・法令遵守を確認する会(4半期に1回)、環境リスク対応研修(年に1回以上)
C-EMSレターの発行	不定期	外部監査実施結果、各年度の取組結果、夏・冬の節電対策等を全庁的に伝達し情報共有

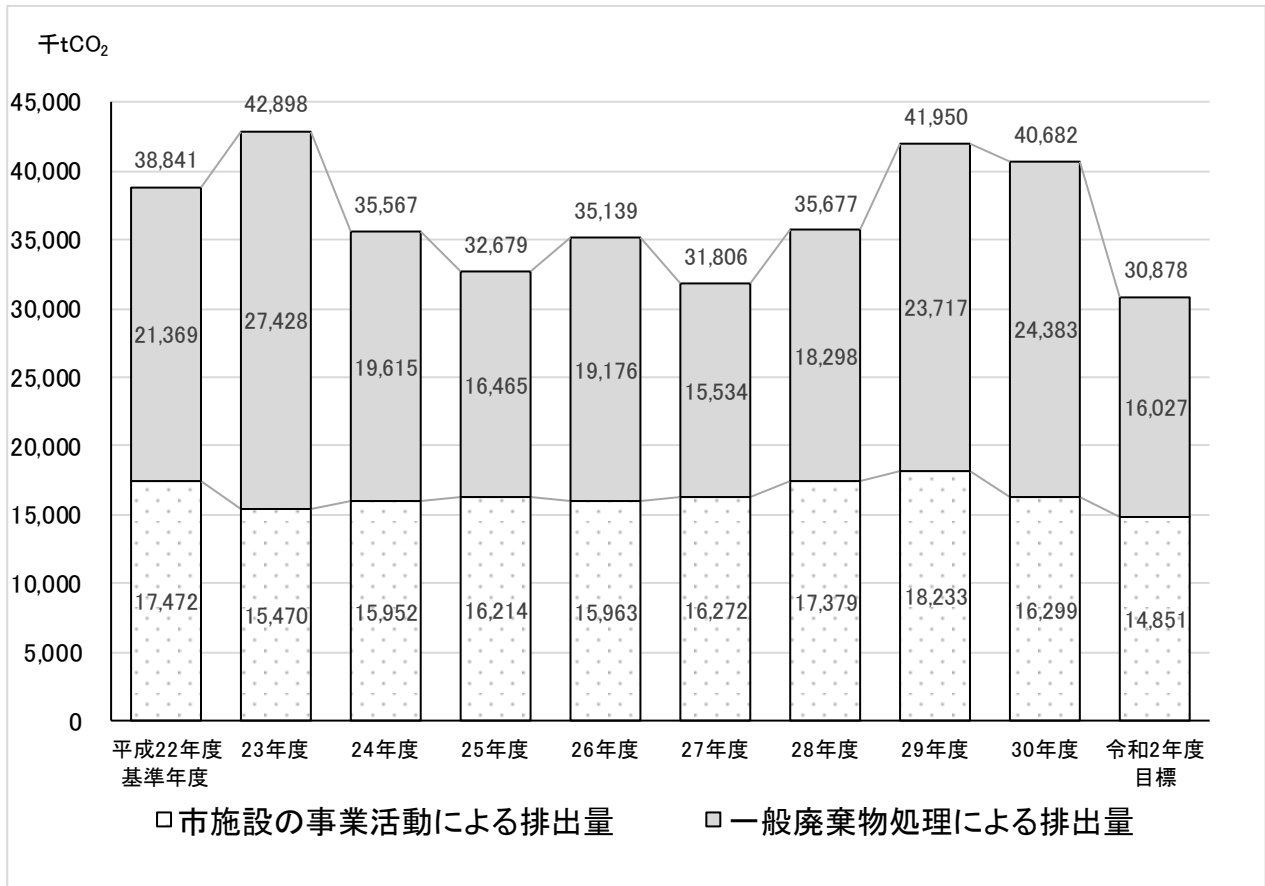
●生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習機会

項目	内容
自然環境(生物多様性)	環境部、都市部への異動者を対象にした研修を実施しました。 市民・職員を対象とした研修会を実施しました。
地球温暖化	茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発と併せて実施しました。 また、気候変動の現状や課題、関連法令、対応事例等について学び、気候変動適応に関する知識を深めることを目的として、職員を対象とした「気候変動対策合同研修」を藤沢市、寒川町とともに実施しました。

●外部研修への参加(平成23年度から令和元年度までに受講のもの)

主催	主な研修内容	参加職員の所属課
環境省環境調査研修所	環境教育、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル、土壌汚染、水質汚濁等	環境政策課、環境保全課、資源循環課
神奈川県	水質システム、大気水質、アスベスト対策、水質汚濁防止法、水道、特定外来生物(※)対策、みどり行政、景観行政、生物多様性等	環境保全課、景観みどり課
神奈川県環境科学センター	県・市町村環境学習担当者研修	環境政策課、環境保全課
(公財)かながわトラストみどり財団(※)	湘南グリーンコネクション	景観みどり課
神奈川県森林協会 ほか	森林・林業行政に係わる担当職員研修会	
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	連続講座「みどりを守り育む知恵・技術・心得」 連続講座「みどりの環境を守り育む力をみがく」	環境政策課

(参考) 茅ヶ崎市行政の温室効果ガス(※)排出量



■概要

- ・茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステム(C-EMS)(※)に基づき、庁内のさらなる環境意識の向上を図るとともに、環境配慮行動の率然的役割を果たします。
- ・環境に関する情報を行政内の全ての部署で共有します。
- ・生物多様性(※)について積極的に学習の機会を設け、職員への周知を図ります。
- ・知識や技術を習得するための研修、先進自治体への視察等の実施を支援し、環境に関する専門的知識を有する職員を育成します。
- ・階層別職員研修のさらなる充実を図り、庁内横断的な施策をマネジメントできる能力を持った職員を育成します。

■令和元年度の取り組み

(1) C-EMSに基づく庁内の環境意識向上と環境配慮行動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
C-EMS課内研修、新採用職員研修、マネージャー研修	・各課かゝのリーダーと担当者を対象として研修を実施しました。(内容:C-EMS計画書を作成する際の注意事項や外部監査での指摘事項、環境法令の遵守等。参加者73名)。 ・後期新採用職員研修において、新採用職員53名を対象としてC-EMSについての説明を行いました。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【487千円】 決算額【485千円】	環境政策課
C-EMS外部監査	・令和元年度は、26課かゝを対象とした文書監査(うちヒアリング8課かゝ)及び4施設を対象とした訪問監査を行い、C-EMSの運用状況や環境活動の取り組み、法令遵守の状況について総合的に評価を受けました。 ・外部監査の結果については、法令遵守に関しての指摘事項が一部あったものの、おおむね適切かつ効果的にC-EMSが運用されているとの評価でした。 ・平成30年度から新たに開始した「C-EMS外部監査結果報告会」を引き続き実施し、監査結果を全庁で共有するとともに、市HPにて公表しました。		
C-EMSレターの発行	・4月に昨年度のC-EMSにおける優良な取り組みの紹介、グリーン購入の推進について掲載し発行しました。		
表彰制度「茅ヶ崎市エコオフィス賞」、「茅ヶ崎市エコ管理賞」の実施	・エコオフィス賞については、1件の実績表彰を行い、C-EMSレターで庁内に周知しました。エコ管理賞については3者の指定管理者の環境配慮の取り組みを表彰しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 自然環境、生物多様性についての職員への周知

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
「茅ヶ崎市みどりの基本計画」に係るヒアリング及び周知	・「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」が新たに策定されたことを周知しました。	みどりの基本計画推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課
都市部局への異動職員への研修	・都市部局への異動職員に対して、茅ヶ崎の自然環境、生物多様性への配慮に関する研修を実施しました。		
庁内イントラネット(※)や通知による周知	・コア地域(※)及びその周辺において、土地利用など自然環境が改変される可能性がある場合の情報提供を呼びかけました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
自然環境庁内会議の定期開催	・定例会を実施し、課題解決に向けた議論と情報交換を行いました。(テーマ:土地利用相談の情報共有等) ・公共工事に関する情報共有をより的確に行うように位置づけた専門委員を含めた全体会を開催し、重要な自然環境の情報共有などを行いました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課
生物多様性に係る庁内研修	・神奈川県生物多様性事業支援に関するアドバイザー派遣制度を利用し、茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会と市の共催で、環境保全セミナー「環境保全と生物多様性の関係性について」を開催しました。(令和2年2月5日開催。参加者66名<一般参加者、市職員合計>)	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課
環境基本計画(生物多様性)に係る庁内研修		市民・事業者・市との環境 具活動連携支援事業 【予算額100千円】 【決算額45千円】	環境政策課
環境部局への異動職員への研修	・令和元年6月3日に、環境部への異動職員に対して、市内の重要な自然環境の視察等や生物多様性への配慮に関する研修を行いました。	環境基本計画の進行管理・ 策定事務 予算額【9,929千円】 決算額【9,082千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 知識や技術を習得するための研修の支援、環境に関する専門的知識を有する職員の育成

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
各種研修会への職員派遣	・令和元年5月13日～17日、国土交通大学校主催「都市計画研修」へ職員を派遣しました。	職員研修に関する 事務 予算額【11,138千円】 決算額【9,220千円】	職員課
職員研修報告会の実施	・令和2年2月8日、職員派遣等とおして学び、習得した様々な先進事例や専門的知識を、職員間で情報共有し、職員の意識や知識の向上を図ることを目的とした報告会を実施しました。		
各種研修会への職員派遣	・令和元年5月8日～10日、環境省環境調査研究所主催「騒音・振動防止研修」に職員を派遣しました。 ・令和元年6月18日、一般財団法人省エネルギーセンター主催「エネルギー管理講習」に職員を派遣しました。 ・令和元年9月24日～27日、環境省環境調査研究所主催「土壌環境研修」に職員を派遣しました。	部内調整事務 予算額【35千円】 決算額【25千円】	環境政策課
	・神奈川県森林協会主催の「森林環境譲与税に係る研修会(林業伐採現場や県産材製造工程視察)に職員2名が参加しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課
2市1町広域連携による合同研修の実施	・2市1町湘南エコウェーブ(※)の取り組みの一環で、県職員を講師に招聘し、2市1町の気候変動に関係する職員を対象とした令和元年度気候変動対策合同研修を実施しました。	省エネルギー及び 地球温暖化対策に 対する普及啓発事業 予算額【113千円】 決算額【84千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(4) 階層別職員研修の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
新採用職員研修	・令和元年11月28日、29日、「環境行政(環境政策課・資源循環課)」について研修を実施しました。	職員研修に関する 事務 予算額【11,138千円】 決算額【9,220千円】	職員課
担当主査級職員研修	・令和元年8月23日、「コーチング研修」を実施しました。		
課長補佐級職員研修	・令和元年11月21日、22日、「マネジメント研修講座」を実施しました。		
課長級職員研修	・平成31年4月24日、令和元年5月17日、「マネジメント研修講座」を実施しました。		

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)研修は、各課かいいの実務を担うリーダーと担当者に対して環境法令の遵守事項等に重点を置き、実施することができました。職員の環境意識の向上が図れたものと考えます。 ・C-EMSの外部監査では、C-EMSがおおむね適切かつ効果的に運用されていると評価され、研修等による庁内周知が図られているものと考えられます。また、平成30年度からの試みである「外部監査結果報告会」では、優良事例や課題を全庁で共有することで、更なる環境意識の向上を図ることができました。 ・生物多様性に係る研修のアンケート結果では、回答者の9割以上が「生物多様性についての理解が深まった」と回答しており、生物多様性の大切さについて周知が図れたものと考えます。	B A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 ・C-EMSの外部監査の中で、一部の指定管理者施設において「フロン排出抑制法」における簡易点検の様式に一部不備があったこと、また、産業廃棄物の委託処理について一部不備があったことが指摘されました。今後は、庁内における研修だけでなく、指定管理者施設等に対してもより一層の研修を図り、再度環境法令を市全体で遵守していくよう努めていきます。 ・職員が環境に関する知識を習得することができるよう、引き続き、研修会の活用等、取り組みを推進することが必要です。	



C-EMS 夏のちょエコ月間・冬のちょエコ月間 ちらし



施策の柱5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課:環境政策課】

■目標18の進捗状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
環境フェア(※)来場者数(名)	約2,000	約1,600	約1,900	約3,000	約2,000	約1,500
里山はっけん隊！(※)参加者数 (延べ人数)	67 (春・夏・冬)	20 (秋)	49 (春・秋)	34 (夏・冬)	39 (秋・春)	48 (夏・冬)
こどもエコクラブ登録クラブ数	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ
環境市民講座参加者数(名)	189	145	147	58	57	0(*)
農業・漁業体験プロジェクト 参加者数(延べ名数) *平成23・24年度は環境政策課、 平成25年度以降は農業水産課が 実施	218	202	177	280	99	120
公民館・文化資料館等に おける環境に関する講座 参加者数(名)	1,959	3,172	2,929	2,330	2,215	2,233

*エコクッキング教室、省エネ講座を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

(参考)家庭における省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み (省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査集計結果)

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度(*)
意識している	81%	90%	90%	84%	83%	62%
意識していない	11%	10%	10%	7%	14%	17%
どちらともいえない	8%			4%	4%	

*令和元年度は地球温暖化対策について、実践している又は実践していないと回答した割合を記載。

■概要

- ・市内の環境に関する情報や、市民活動団体、事業者、市等による環境への取り組みに関する情報等を積極的に発信します。
- ・市民・事業者を対象とした環境に関する事業をより充実させ、参加者の増大を図ります。
- ・社会教育等の機会を捉えて環境に関する講座等を実施し、地域の中で知識や経験を広げていくことのできる人材の育成を図ります。
- ・環境意識啓発について、先進自治体の事例も参考にします。

■令和元年度の取り組み

(1) 市内の環境情報、市民活動団体・事業者・市等の環境への取り組みに関する情報等の発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	・市ホームページに「参加してみよう！環境活動」のページを随時更新し、保全管理団体が実施する保全活動や講座についての周知を図りました。 ・環境フェア(※)や講座等の開催にあたっては、広報紙、タウン紙、ホームページのほか、メール配信サービスやツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いた情報発信を行いました。	市民・事業者・市との 環境活動連携 支援事業 予算額【100千円】 決算額【45千円】	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット(※)」を活用した情報発信(再掲)	・「ちがさきエコネット」登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストの開催や市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、環境フェアでの周知により、登録世帯数が平成30年度末424世帯から534世帯となりました。 ・平成30年度に引き続き、緑のカーテン(※)用のゴーヤの苗の配布事業の受付を実施したほか、緑のカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,022千円】 決算額【1,012千円】	
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	・みどりに関する情報紙「ニュースレターちがさき」を3回発行し、自然環境や生物多様性(※)の保全に関する様々な情報を提供しました。 ・景観みどり課Facebookページを随時更新し、茅ヶ崎の自然や風景などの情報提供を行いました。 ・茅ヶ崎市内の景観に係る市民団体、みどりに係る市民団体の情報を一覧にまとめ、主な活動範囲や活動概要をホームページで紹介しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 環境に関する講座等の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
「ちがさき環境フェア」の開催(再掲)	・「ちがさき環境フェア2019」を開催しました。市民団体や事業者によるパネル展示や燃料電池について学ぶ「おもしろ環境教室」や、生物多様性についてのトークショー・ワークショップ、マイクロプラスチックについてのお話・ワークショップ等により、省エネルギーや新エネルギー(※)、生物多様性、マイクロプラスチック問題に関する情報発信を行いました。(令和元年10月5日開催。出展・協力団体61団体、来場者約1,500名)	環境フェア開催事業 予算額【975千円】 決算額【835千円】	環境政策課
市民と連携した講座等の実施(再掲)	・「相模川の河畔林を育てる会」との共催で、シンポジウム「相模川河畔林の環境活動～自然環境の保全を考えそして行動～」を開催しました。(令和元年12月8日開催。参加者27名)	環境学習支援事業 予算額【102千円】 決算額【57千円】	

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
子どもを対象とした環境に関する講座等の実施(再掲)	・エコクッキング教室や省エネ講座の実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの市内感染拡大の防止という観点から、中止しました。	環境学習支援事業 予算額【102千円】 決算額【57千円】	環境政策課
環境バスツアーの実施(2市1町 広域連携事業)	・親子環境バスツアーで「(株)JERA川崎火力発電所」「かわさきエコ暮らし未来館」及び「ANA羽田機体工場」を、秋の環境バスツアーで「(株)鈴廣蒲鉾本店」「(株)タツノ横浜工場」を見学し、発電の仕組みや再生可能エネルギーの取り組みなどを学びました。(親子環境バスツアー参加者41名(茅ヶ崎市参加者10名)、秋の環境バスツアー参加者37名(茅ヶ崎市参加者12名))。	省エネルギー及び 地球温暖化対策に 対する普及啓発事業 予算額【113千円】 決算額【84千円】	環境政策課
みどりの保全セミナーの実施(2 市1町広域連携事業)	・日本大学生物資源科学部に協力いただき、小学生を対象とし、みどりの保全セミナーを行いました。地球温暖化防止に関する森林の役割や森林と生物の暮らしに関係について学び、演習林で森林環境や生物を観察しました。(参加者54名(茅ヶ崎市参加者14名))		
ごみ処理施設見学	・自治会等を対象に寒川広域リサイクルセンター(※)、環境事業センター、最終処分場の見学会を12回実施しました。	ごみの減量化・資源化に 関する啓発事業 予算額【1,811千円】 決算額【1,561千円】	資源循環課
各公共施設における環境に関する講座の実施	・各公民館では、夏休み自然観察や傘のリサイクルエコバッグ作り等、子どもから大人までを対象とした事業を各種実施し、環境について学ぶ機会を創出した。	社会的要請課題をテーマと した事業(公民館)・子ども 事業(公民館) 予算額【2,351千円】 決算額【220千円】	社会教育課
ちがさき丸ごとふるさと発見博物 館事業	・5月～8月、10月～12月に開講したちがさき丸ごと博物館講座(基礎編)で、茅ヶ崎の自然を学ぶ講座をカリキュラムに組み入れて実施しました。 ・企画展「つながるちがさき2020」において、講座茅ヶ崎の海岸と自然環境」を実施しました。	ちがさき丸ごとふるさと発見 博物館事業 予算額【1,010千円】 決算額【974千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・みどりの情報紙「ちが咲き」の発行、Facebookでの情報発信、市ホームページでの「景観みどりに係る市民団体」の一覧やマップの掲載、「参加してみよう！環境活動」ページでのイベント情報掲載等積極的な情報発信を行うことで、環境意識の向上に資することができました。 ・引き続き、市民活動団体等との協働により、自然環境、地球温暖化対策、資源循環等の環境に関する講座を開催し、多くの市民の参加を得ることができました。 ・社会教育においても、各公民館での学習機会の創出のほか、「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業」における自然環境に関する講座の実施等、さまざまな機会を捉えた学習の場を創出できました。	B A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 ・今後も情報発信の方法の改善に努めながら、啓発活動の内容、対象など、工夫しながら継続していく必要があります。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、インターネットを活用した講座の実施等、新たな取り組みが必要です。	

■概要

- ・市民活動団体や事業者に対し効果的な支援を行います。
- ・広報紙やホームページ等を活用し、取り組みを市内外へPRする機会の提供や表彰制度等のインセンティブを設けることにより、活動の促進と市民への普及、自主的な参加拡大を図ります。

■令和元年度の取り組み

(1) 市民活動団体や事業者に対する効果的な支援

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
環境美化推進事業	・海岸、公道や公園等の公共的な場所における清掃活動にあたり、ごみ袋や軍手を配布しました。 (参加者7,647名、ごみ袋配布数〔可燃〕10,245袋、〔不燃〕4,336袋、〔小さい袋〕2,200袋、軍手配布数3,823双)	美化推進事業 予算額【12,162千円】 決算額【12,108千円】	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	・美化運動を自主的に実施している市内の団体に対し、美化意識啓発、花の植栽、美化清掃等の活動を対象として、補助金を交付しました。(申請団体数27団体)		
資源回収推進地域補助金制度	・137の自治会等に対して、資源物収集量に応じた補助金を支出し、資源物の適正排出を推進しました。	ごみの排出抑制 推進事業 予算額【36,963千円】 決算額【35,773千円】	資源循環課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会(※)」への支援	・21社(令和2年3月時点)で構成される「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」の会員として事務を担当し、視察見学会、事業所見学会等を開催しました ・同団体と市民団体「清水谷を愛する会」、「相模川の河畔林を育てる会」と合同で保全作業を実施しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課
環境保全活動をしている市民団体への支援	・自然環境保全ボランティアあっせん制度を運用し、受入団体の活動日等をボランティア登録者へ周知しました。(あっせん件数3件) ・広報紙、市ホームページ「参加してみよう！環境活動」のページ、みどりの情報紙「ちが咲き」等にて、市民活動団体が実施する保全活動や講座の周知を図りました。		
環境学習会に関する講師派遣事業	・市民団体が開催する環境学習会の講師謝礼を市が負担する「環境学習会に関する講師派遣事業」として、「相模川の河畔林を育てる会」主催の「夜風の中で虫の鳴き声を聞こう」(令和元年9月8日開催)に、講師を派遣しました。	市民・事業者・市との環境 活動連携支援事業 予算額【100千円】 決算額【45千円】	環境政策課
水質調査考察会の開催	・市内で水質調査を実施している市民団体4団体に御参加いただき、水質調査考察会を実施しました。県環境科学センターから講師を招き、各団体から持ち寄ったデータ等に基づき、情報共有・情報交換を行いました。(令和元年12月12日開催)		

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 環境に関する取り組みを市内外へPRする機会の提供、活動の促進、市民への普及、自主的な参加拡大

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
「ちがさき環境フェア(※)」の開催 (再掲)	・「ちがさき環境フェア2019」を開催しました。市民団体や事業者によるパネル展示や燃料電池について学ぶ「おもしろ環境教室」や、生物多様性(※)についてのトークショー・ワークショップ、マイクロプラスチックについてのお話・ワークショップ等により、省エネルギーや新エネルギー(※)、生物多様性、マイクロプラスチック問題に関する情報発信を行いました。(令和元年10月5日開催。出展・協力団体61団体、来場者約1,500名)	環境フェア開催事業 予算額【975千円】 決算額【835千円】	環境政策課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	・市ホームページに「参加してみよう！環境活動」のページを随時更新し、保全管理団体が実施する保全活動や講座についての周知を図りました。 ・環境フェアや講座等の開催にあたっては、広報紙、タウン紙、ホームページのほか、メール配信サービスやツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いた情報発信を行いました。	市民・事業者・市との環境活動連携支援事業 予算額【100千円】 決算額【45千円】	
ポータルサイト「ちがさきエコネット(※)」を活用した情報発信(再掲)	・「ちがさきエコネット」登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストの開催や市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、環境フェアでの周知により、登録世帯数が平成30年度末424世帯から534世帯となりました。 ・平成30年度に引き続き、緑のカーテン(※)用のゴーヤの苗の配布事業の受付を実施したほか、緑のカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,022千円】 決算額【1,012千円】	
エコ事業者認定制度の活用	・令和元年度末時点で16の事業者「エコ事業者」認定をしました。 ・エコ事業者の取り組みを周知するため、「ちがさきエコネット」にエコ事業者のお知らせを周知できるページを作成しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・環境美化や資源循環、緑化等に取り組む個人や事業者、団体に対する補助事業の継続的な実施や、広報紙や市ホームページ等を活用した市民団体の活動周知等により、環境保全の取り組みを支援することができました。 ・市民団体への支援として、市民団体主催の学習会へ講師を派遣したほか、市民団体からの要望を受け、水質調査考察会を開催することができました。 ・環境フェアや広報紙、市ホームページにより各主体の取り組みを市内外へアピールする機会を提供することができました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・「環境学習会に関する講師派遣事業」については市民団体への積極的な周知を行い、活用を図る必要があります。 ・市民活動団体等への補助事業や人的支援等をしているところですが、更なる効果的な支援に努めるため、ニーズの把握が必要です。	

自然環境保全ボランティアあっせん制度による
ボランティアの活動(相模川河畔林)



施策の柱5.3 学校における環境教育の充実

目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション(※)の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課:環境政策課】

■目標19の進捗状況

●学校における環境学習の実施状況

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
地域資源を活用した 環境学習の回数(*)	97回	100回	79回	80回	74回	64回
地域資源を活用した 環境学習の実施校数(*) (市立小中学校総数32校)	30校	31校	32校	27校	27校	24校
スクールエコアクション 導入校	市立全小中学校 (32校)					

* スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

「ちがさき環境フェア2019」



スクールエコアクション活動展示

「スクールエコアクション活動展」



スクールエコアクション取組紹介

■概要

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション(※))を運用し学校生活での環境活動の充実を図ります。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組み等を紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

■令和元年度の取り組み

(1) 環境教育の充実にに向けた情報提供の仕組みの構築・運用

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール(※)」掲載情報の随時更新	・「環境学習News」の発行、環境フェア(※)における「スクールエコアクション取組紹介」の実施、「スクールエコアクション活動報告書」等について内容の更新を行いました。	環境学習支援事業 予算額【102千円】 決算額【57千円】	環境政策課
学校関係者へのエコスクール周知	・市立小中学校の教員向けに発行している、環境情報誌「環境学習News」に掲載し周知しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	・各校の環境活動報告書を市ホームページに掲載するとともに、その中から特色ある取り組みを一覧にまとめ、各校に情報提供し、相互の取り組みを参照できるようにしました。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【487千円】 決算額【485千円】	環境政策課
スクールエコアクション報告会の実施	・梅田小学校、香川小学校で行っている環境に関する活動取材し、動画にまとめ、環境フェアにおいて紹介しました。 ・発表校以外の取り組みについては、スクールエコアクション活動展として、環境フェアの1週間前から当日まで市民ふれあいプラザに展示し、多くの方に御覧いただきました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 学校の環境教育に対する支援等

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費	担当課
教員向けの環境学習情報誌の発行	・教員向けの環境情報を載せた「環境学習News」を3回発行しました。出前講座メニュー紹介、環境に関するコンクールの紹介、各校の特色ある取り組みや優良な取り組みの紹介、環境フェアに参加した小学校の取り組み紹介等を行いました。	環境学習支援事業 予算額【102千円】 決算額【57千円】	環境政策課
出前授業の実施(茅ヶ崎市の環境)	・学校からの要請がなかったため実施しませんでした。		
出前授業の実施(河川水質調査)	・中学生を対象に、簡易測定(パックテスト)キット等を用いて、調査結果を記録・発表し、千ノ川の水質調査を体験してもらった。	環境保全啓発指導事業 予算額【1,617千円】 決算額【1,563千円】	環境保全課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費	担当課
出前授業の実施(ごみの分別)	・小学校8校、中学校4校で出前講座を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【1,811千円】 決算額【1,561千円】	資源循環課
「パッカー君のごみ探検」の配付	・小学4年生が行う環境学習向けに、副読本「パッカー君のごみ探検」を作製し、配布しました。		

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費	担当課
自然観察会等への支援	・平成31年4月18日、西浜中学校1年生(約90名)の校内及び茅ヶ崎海岸での自然観察会を指導しました。 ・平成31年4月24日、円蔵中学校2年生(約20名)の千ノ川での自然観察会を指導しました。 ・令和元年6月4・11日、鶴嶺小学校3年(約220名)小出川周辺での自然観察会を指導しました。 ・令和元年11月6日、鶴が台中学校1年生(約140名)を対象とした総合学習の一環として「茅ヶ崎の身近な自然等」について講演しました。 ・令和元年11月11日、鶴が台中学校1年生(約70名)を対象とした、柳谷の自然観察会を指導しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【788千円】 決算額【504千円】	景観みどり課

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」や「環境学習News」の発行を通じ、環境学習に役立つ教材の提供や出前授業の紹介、各校の特色のある取り組みや体験学習の共有を行い、環境学習の支援を行いました。 ・学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)の導入により、市内の全小中学校において継続的な環境活動の実践が図られています。スクールエコアクション活動報告等、取り組みの成果をPRする場を環境フェアに設けることで、多くの小中学生に環境フェアへの参加を促し、環境への関心の向上を図ることができました。	B
課題 ・事業者や市民団体活動との連携による環境活動プログラムの提供については実現には至っておらず、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の発展的な活用等を視野に入れた検討が必要です。 ・出前講座(茅ヶ崎市の環境)については、数年依頼がないため、環境に関する社会的動向の変化に即した内容に更新する必要があります。 ・スクールエコアクションについては、計画書、報告書の記載内容が固定化する傾向が見られることから、課題から改善策を見出し、成果から発展的な取り組みにつなげられるよう仕組みを改善する必要があると見えます。	



環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」



「環境学習NEWS」